

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	胆振東部森林計画区 （いぶりとうぶ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>胆振東部森林計画区は、北海道の南西部に位置し沙流川広域流域の西側にあたる胆振支庁管内1市4町で構成されている。その流域面積は234千haで全道の3%にあたり、胆振東部森林管理署はこのうち6万3千haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、水源かん養を目的とした保安林を主体にほぼ全域が保安林に指定され、工業都市苫小牧市を中心とした都市圏の水源としての重要な役割を担っているほか、都市圏から比較的近く、温泉、溪谷、豊かな森林景観など豊富な観光資源に恵まれ、支笏洞爺国立公園などに指定されていることから、登山やキャンプなどのレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに西部を中心とした地域は、風不死・恵庭・樽前の3火山の影響を受け、地質的に侵蝕や崩壊しやすいこと等から、森林の保全に対する要望が高い。また、平成16年9月の台風18号による風倒災害の復旧にあたっては、将来の森林の姿を見据えた事業を進めることとしている。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>782 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,094 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>50.7 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	782 (ha)			保育面積	8,094 (ha)		路網整備	開設延長	50.7 (km)			改良延長	2.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	782 (ha)																
		保育面積	8,094 (ha)																
	路網整備	開設延長	50.7 (km)																
		改良延長	2.7 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,805,871（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	7,992,375（千円）																
		山地保全便益	2,454,410（千円）																
		環境保全便益	68,912（千円）																
		木材生産便益	2,471,625（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	349,685（千円）																
		計	13,337,007（千円）																
	分析結果（B/C）	7.39																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、特に水源かん養機能の増加、また、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択にあたっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	宗谷森林計画区 (そうや) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署																
事業の概要・目的	<p>宗谷森林計画区は、北海道の最北に位置し、天塩川広域流域のうち宗谷支庁管内の1市7町1村で構成されている。その流域面積は405千haで全道面積の5%に当たり、このうち、宗谷森林管理署は162千haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、高緯度地方の特色ある自然景観を形成しており、利尻礼文サロベツ国立公園、北オホーツク道立自然公園などに指定され、絶滅のおそれが高い野生生物の分布やラムサール条約登録地もあることから、レクリエーションの場としての利用とともに、野生生物の保護に対する要望が高い。</p> <p>さらに、海岸部の多くは、過去の度重なる森林火災等により失われ、未だ笹生地となっている地域が多く見られるとともに、利尻・礼文両島は、海岸線近くまで急傾斜地が迫る山地災害の危険地域となっていることから、生活環境の保全、山地災害の防止等の機能発揮が強く求められている。</p> <p>また、多くの市町村が国有林に水源を依存していることから、良質な水資源の安定供給のため、水源かん養機能の発揮が重要となっている。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">148 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,548 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>36.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	148 (ha)			保育面積	4,548 (ha)		路網整備	開設延長	36.0 (km)			改良延長	11.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	148 (ha)																
		保育面積	4,548 (ha)																
	路網整備	開設延長	36.0 (km)																
		改良延長	11.7 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	1,065,673 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	5,041,041 (千円)																
		山地保全便益	1,588,738 (千円)																
		環境保全便益	32,377 (千円)																
		木材生産便益	1,610,811 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	166,438 (千円)																
		計	8,439,405 (千円)																
	分析結果 (B/C)	7.92																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、特に水源かん養機能の増加、また、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	網走東部森林計画区 （あばしりとうぶ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>網走東部森林計画区は、北海道の北東部に位置し、網走・湧別川広域流域の東側に当たる網走支庁管内の2市9町で構成されている。その流域面積は、595千haで全道面積の8%にあたり、網走中部森林管理署はこのうち107千haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、水源かん養を目的とした保安林を主体に全体面積の9割が保安林に指定され、多くの市町村の水源として、また、沿岸部での漁場環境の保全等に重要な役目を担っている。</p> <p>一方、従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達しており、特に木材加工では建築用材等の生産が盛んであるほか、地域の自然条件、資源を活かした農業や水産業が重要な産業となっている。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">681 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,355 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>31.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>23.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	681 (ha)			保育面積	1,355 (ha)		路網整備	開設延長	31.8 (km)			改良延長	23.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	681 (ha)																
		保育面積	1,355 (ha)																
	路網整備	開設延長	31.8 (km)																
		改良延長	23.0 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,186,238（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,086,706（千円）																
		山地保全便益	953,962（千円）																
		環境保全便益	18,639（千円）																
		木材生産便益	4,051,000（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	385,090（千円）																
		計	9,495,397（千円）																
	分析結果（B/C）	8.00																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、特に水源かん養機能の増加及び木材生産性の増加、また、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	網走東部森林計画区 （あばしりとうぶ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>網走東部森林計画区は、北海道の北東部に位置し、網走・湧別川広域流域の東側に当たる網走支庁管内の2市9町で構成されている。その流域面積は、595千haで全道面積の8%にあたり、網走南部森林管理署はこのうち135千haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、水源かん養を目的とした保安林を主体に全体面積の9割が保安林に指定され、多くの市町村の水源として、また、沿岸部での漁場環境の保全等に重要な役目を担っている。</p> <p>また豊富な観光資源に恵まれ、国有林野独自の森林保護制度である知床森林生態系保護地域の設定をはじめとして、知床国立公園など多くの自然公園に指定されていることからレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>一方、従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達しており、特に木材加工では建築用材等の生産が盛んであるほか、地域の自然条件、資源を活かした農業や水産業が重要な産業となっている。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>204 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,866 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>31.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>29.5 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	204 (ha)			保育面積	3,866 (ha)		路網整備	開設延長	31.0 (km)			改良延長	29.5 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	204 (ha)																
		保育面積	3,866 (ha)																
	路網整備	開設延長	31.0 (km)																
		改良延長	29.5 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,180,528（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	6,161,122（千円）																
		山地保全便益	1,438,195（千円）																
		環境保全便益	87,995（千円）																
		木材生産便益	2,150,295（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	202,987（千円）																
		計	10,040,594（千円）																
	分析結果（B/C）	8.51																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、特に水源かん養機能の増加、また、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	東青森林計画区 （とうせい） （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 青森森林管理署																
事業の概要・目的	<p>東青森林計画区は、青森県北部に所在する68,242haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>390</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,449</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>21,540</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	390	(ha)		保育面積	2,449	(ha)	路網整備	開設延長	21,540	(km)		改良延長	0	(km)
森林整備	更新面積	390	(ha)																
	保育面積	2,449	(ha)																
路網整備	開設延長	21,540	(km)																
	改良延長	0	(km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,332,588千円																	
	総便益（B）																		
	水源かん養便益	2,423,274千円																	
	山地保全便益	1,043,408千円																	
	環境保全便益	89,648千円																	
	林業生産便益	1,727,346千円																	
	森林整備経費縮減等便益	395,372千円																	
	計	5,679,048千円																	
	分析結果（B/C）	4.26																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	北上川上流森林計画区 （きたかみがわじょうりゅう） （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 盛岡森林管理署																
事業の概要・目的	<p>北上川上流森林計画区は、岩手県中央部に所在する62,244haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>316</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,247</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>42,900</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>130</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	316	(ha)		保育面積	1,247	(ha)	路網整備	開設延長	42,900	(km)		改良延長	130	(km)
森林整備	更新面積	316	(ha)																
	保育面積	1,247	(ha)																
路網整備	開設延長	42,900	(km)																
	改良延長	130	(km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,927,841千円																	
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,399,503千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>637,017千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>86,614千円</td> </tr> <tr> <td>林業生産便益</td> <td>3,260,915千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>885,605千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,269,654千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,399,503千円	山地保全便益	637,017千円	環境保全便益	86,614千円	林業生産便益	3,260,915千円	森林整備経費縮減等便益	885,605千円	計	6,269,654千円				
	水源かん養便益	1,399,503千円																	
山地保全便益	637,017千円																		
環境保全便益	86,614千円																		
林業生産便益	3,260,915千円																		
森林整備経費縮減等便益	885,605千円																		
計	6,269,654千円																		
分析結果（B/C）	3.25																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	宮城南部森林計画区 （みやぎなんぶ） （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 仙台森林管理署												
事業の概要・目的	<p>宮城南部森林計画区は、宮城県中央部に所在する55,234haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>153 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,140 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11,000 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	153 (ha)		保育面積	1,140 (ha)	路網整備	開設延長	11,000 (km)		改良延長	0 (km)
森林整備	更新面積	153 (ha)													
	保育面積	1,140 (ha)													
路網整備	開設延長	11,000 (km)													
	改良延長	0 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	729,315千円													
	総便益（B）	水源かん養便益	1,310,182千円												
		山地保全便益	468,903千円												
		環境保全便益	70,965千円												
		林業生産便益	968,338千円												
		森林整備経費縮減等便益	213,372千円												
		計	3,031,760千円												
	分析結果（B/C）	4.16													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成12年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	子吉川森林計画区 （こよしがわ） （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 由利森林管理署												
事業の概要・目的	<p>子吉川森林計画区は、秋田県南西部に所在する22,922haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>60 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,391 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7,400 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1,830 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	60 (ha)		保育面積	1,391 (ha)	路網整備	開設延長	7,400 (km)		改良延長	1,830 (km)
森林整備	更新面積	60 (ha)													
	保育面積	1,391 (ha)													
路網整備	開設延長	7,400 (km)													
	改良延長	1,830 (km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	604,907千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,460,325千円												
		山地保全便益	559,484千円												
		環境保全便益	95,823千円												
		林業生産便益	544,332千円												
		森林整備経費縮減等便益	168,067千円												
		計	2,828,031千円												
	分析結果 (B/C)	4.68													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	奥久慈森林計画区 （おくくじ） （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 棚倉森林管理署												
事業の概要・目的	<p>奥久慈森林計画区は、福島県の南部に位置し、21,633haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で18,469ha(86%)、森林と人との共生林で510ha(2%)、資源の循環利用林で2,654ha(12%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽、下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>538ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,039ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.2km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>9.2km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	538ha		保育面積	4,039ha	路網整備	開設延長	19.2km		改良延長	9.2km
森林整備	更新面積	538ha													
	保育面積	4,039ha													
路網整備	開設延長	19.2km													
	改良延長	9.2km													
費用対効果分析	総費用（C）	2,188,567（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>2,525,365（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>1,215,607（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>176,100（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>1,983,037（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>993,228（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,893,337（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	2,525,365（千円）	山地保全便益	1,215,607（千円）	環境保全便益	176,100（千円）	木材生産便益	1,983,037（千円）	森林整備経費縮減等便益	993,228（千円）	計	6,893,337（千円）
	水源かん養便益	2,525,365（千円）													
山地保全便益	1,215,607（千円）														
環境保全便益	176,100（千円）														
木材生産便益	1,983,037（千円）														
森林整備経費縮減等便益	993,228（千円）														
計	6,893,337（千円）														
分析結果（B/C）	3.15														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	那珂川森林計画区 （なかがわ） （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 塩那森林管理署												
事業の概要・目的	<p>那珂川森林計画区は、栃木県の北東部に位置し、41,254haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で22,094ha(54%)、森林と人との共生林で16,956ha(41%)、資源の循環利用林で2,204ha(5%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽、下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>382ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,271ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>9.0km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>21.4km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	382ha		保育面積	3,271ha	路網整備	開設延長	9.0km		改良延長	21.4km
森林整備	更新面積	382ha													
	保育面積	3,271ha													
路網整備	開設延長	9.0km													
	改良延長	21.4km													
費用対効果分析	総費用（C）	2,669,513（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>2,493,277（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>872,766（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>186,973（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>2,914,820（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>1,070,760（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,538,596（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	2,493,277（千円）	山地保全便益	872,766（千円）	環境保全便益	186,973（千円）	木材生産便益	2,914,820（千円）	森林整備経費縮減等便益	1,070,760（千円）	計	7,538,596（千円）
	水源かん養便益	2,493,277（千円）													
山地保全便益	872,766（千円）														
環境保全便益	186,973（千円）														
木材生産便益	2,914,820（千円）														
森林整備経費縮減等便益	1,070,760（千円）														
計	7,538,596（千円）														
分析結果（B/C）	2.82														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	利根上流森林計画区 （とねじょうりゅう） （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 利根沼田森林管理署												
事業の概要・目的	<p>利根上流森林計画区は、群馬県の北部に位置し、97,237haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で59,672ha(62%)、森林と人との共生林で35,269ha(36%)、資源の循環利用林で2,296ha(2%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽、下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>261ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,125ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11.0km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.6km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	261ha		保育面積	2,125ha	路網整備	開設延長	11.0km		改良延長	4.6km
森林整備	更新面積	261ha													
	保育面積	2,125ha													
路網整備	開設延長	11.0km													
	改良延長	4.6km													
費用対効果分析	総費用（C）	2,532,226（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,777,816（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>613,569（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>117,560（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>4,338,004（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>1,078,500（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,925,449（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,777,816（千円）	山地保全便益	613,569（千円）	環境保全便益	117,560（千円）	木材生産便益	4,338,004（千円）	森林整備経費縮減等便益	1,078,500（千円）	計	7,925,449（千円）
	水源かん養便益	1,777,816（千円）													
山地保全便益	613,569（千円）														
環境保全便益	117,560（千円）														
木材生産便益	4,338,004（千円）														
森林整備経費縮減等便益	1,078,500（千円）														
計	7,925,449（千円）														
分析結果（B/C）	3.13														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	上越森林計画区 （じょうえつ） （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 上越森林管理署												
事業の概要・目的	<p>上越森林計画区は、新潟県の南部に位置し、35,573haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で14,038ha(39%)、森林と人との共生林で21,522ha(61%)、資源の循環利用林で13ha(0%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>8ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>78ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.9km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.3km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	8ha		保育面積	78ha	路網整備	開設延長	0.9km		改良延長	2.3km
森林整備	更新面積	8ha													
	保育面積	78ha													
路網整備	開設延長	0.9km													
	改良延長	2.3km													
費用対効果分析	総費用（C）	222,889（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>90,389（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>29,813（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>2,274（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>897,490（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>151,991（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,171,957（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	90,389（千円）	山地保全便益	29,813（千円）	環境保全便益	2,274（千円）	木材生産便益	897,490（千円）	森林整備経費縮減等便益	151,991（千円）	計	1,171,957（千円）
	水源かん養便益	90,389（千円）													
山地保全便益	29,813（千円）														
環境保全便益	2,274（千円）														
木材生産便益	897,490（千円）														
森林整備経費縮減等便益	151,991（千円）														
計	1,171,957（千円）														
分析結果（B/C）	5.26														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	多摩森林計画区 （たま） （東京都）	事業実施主体	関東森林管理局 東京神奈川森林管理署												
事業の概要・目的	<p>多摩森林計画区は、東京都全域に位置し、1,193haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で182ha(15%)、森林と人との共生林で917ha(77%)、資源の循環利用林で94ha(8%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽、下刈・除間伐等の保育作業、林道の改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>3ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>102ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>0.4km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	3ha		保育面積	102ha	路網整備	改良延長	0.4km			
森林整備	更新面積	3ha													
	保育面積	102ha													
路網整備	改良延長	0.4km													
費用対効果分析	総費用（C）	34,257（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>123,829（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>43,754（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>2,651（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>34,271（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>10,155（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>214,660（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	123,829（千円）	山地保全便益	43,754（千円）	環境保全便益	2,651（千円）	木材生産便益	34,271（千円）	森林整備経費縮減等便益	10,155（千円）	計	214,660（千円）
	水源かん養便益	123,829（千円）													
山地保全便益	43,754（千円）														
環境保全便益	2,651（千円）														
木材生産便益	34,271（千円）														
森林整備経費縮減等便益	10,155（千円）														
計	214,660（千円）														
分析結果（B/C）	6.27														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	富士森林計画区 （ふじ） （静岡県）	事業実施主体	関東森林管理局 静岡森林管理署																
事業の概要・目的	<p>富士森林計画区は、静岡県の東部に位置し、16,855haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で7,253ha(43%)、森林と人との共生林で9,132ha(54%)、資源の循環利用林で470ha(3%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽、下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>29ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,192ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.7km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	29ha		保育面積	1,192ha	路網整備	開設延長	2.4km		改良延長	3.7km				
森林整備	更新面積	29ha																	
	保育面積	1,192ha																	
路網整備	開設延長	2.4km																	
	改良延長	3.7km																	
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>426,212（千円）</td> </tr> <tr> <td>総便益（B）</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 水源かん養便益</td> <td>1,568,647（千円）</td> </tr> <tr> <td> 山地保全便益</td> <td>461,297（千円）</td> </tr> <tr> <td> 環境保全便益</td> <td>63,580（千円）</td> </tr> <tr> <td> 木材生産便益</td> <td>923,719（千円）</td> </tr> <tr> <td> 森林整備経費縮減等便益</td> <td>203,896（千円）</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>3,221,139（千円）</td> </tr> </table> <p>分析結果（B/C） 7.56</p>			総費用（C）	426,212（千円）	総便益（B）		水源かん養便益	1,568,647（千円）	山地保全便益	461,297（千円）	環境保全便益	63,580（千円）	木材生産便益	923,719（千円）	森林整備経費縮減等便益	203,896（千円）	計	3,221,139（千円）
総費用（C）	426,212（千円）																		
総便益（B）																			
水源かん養便益	1,568,647（千円）																		
山地保全便益	461,297（千円）																		
環境保全便益	63,580（千円）																		
木材生産便益	923,719（千円）																		
森林整備経費縮減等便益	203,896（千円）																		
計	3,221,139（千円）																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	中部山岳森林計画区 （ちゅうぶさんがく） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署 木曾森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、長野県北西部の中部山岳森林計画区に所在する99,116haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、西側が北アルプスを中心とした中部山岳国立公園、北側が上信越高原国立公園、東側が八ヶ岳中信高原国立公園に指定されており、上高地、美ヶ原高原など我が国を代表するレクリエーション・保健休養の場として利用されている。</p> <p>また、地質的に脆弱なうね急傾斜地が多いため、当計画区の森林の92%が保安林に指定されており、中でも土砂流出防備・土砂崩壊防備といった国土保全を重視する保安林が、区域の47%と非常に高いものとなっている。</p> <p>本事業は、これら流域の特性に応じ、森林の持つ多面的機能の高度発揮を図るため間伐等を積極的に実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>21 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,909 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.3 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	21 (ha)			保育面積	1,909 (ha)		路網整備	開設延長	2.5 (km)			改良延長	1.3 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	21 (ha)																
		保育面積	1,909 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.5 (km)																
		改良延長	1.3 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	476,429千円																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,021,120千円																
		山地保全便益	567,637千円																
	環境保全便益	185,830千円																	
	木材生産便益	622,061千円																	
	森林整備経費縮減等便益	209,275千円																	
	計	2,605,923千円																	
	分析結果 (B/C)	5.47																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 国土保全、水源かん養及び自然環境の維持・保全等、公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るための更新・保育及び間伐等の森林整備とこれに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	長良川森林計画区 （ながらがわ） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、岐阜県中部の長良川森林計画区に所在する2,572haの国有林野を対象としている。 当計画区は、長良川の源流部から下流部の区域に点在し、金華山、大日ヶ岳周辺の森林は、自然観察等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。 また、国有林野面積の90%が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定されており、広域にわたる流域の水源かん養、山地災害防止の役割を担っている。 本事業は、これら流域の特性に応じ、森林の持つ多面的機能の高度発揮を図るため間伐等を積極的に実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>10 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>277 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>— (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.5 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	10 (ha)		保育面積	277 (ha)	路網整備	開設延長	— (km)		改良延長	0.5 (km)
森林整備	更新面積	10 (ha)													
	保育面積	277 (ha)													
路網整備	開設延長	— (km)													
	改良延長	0.5 (km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	74,621千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	228,062千円												
		山地保全便益	71,696千円												
	環境保全便益	12,757千円													
	木材生産便益	114,241千円													
	森林整備経費縮減等便益	44,504千円													
	計	471,260千円													
	分析結果 (B/C)	6.32													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全、水源かん養及び国土保全等、公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るための更新・保育及び間伐等の森林整備とこれに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	尾張西三河森林計画区 （おわりにしみかわ） （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、愛知県西部の尾張西三河森林計画区に所在する3,282haの国有林野を対象としている。 当計画区の国有林は、県西部に点在する都市近郊型の森林が多く、国有林野面積の96%が土砂流出防備などの保安林に指定され、山地災害防止等の役割を担っている。 また、飛騨木曾川国定公園や愛知高原国定公園等の自然景観に恵まれた地域は自然観察等保健休養の場として多くの人々に利用され、地域住民に親しまれる森林となっている。 本事業は、これら流域の特性に応じ、森林の持つ多面的機能の高度発揮を図るため間伐等を積極的に実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>—</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>218</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>—</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.4</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	—	(ha)			保育面積	218	(ha)		路網整備	開設延長	—	(km)			改良延長	2.4	(km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	—	(ha)																			
		保育面積	218	(ha)																			
	路網整備	開設延長	—	(km)																			
		改良延長	2.4	(km)																			
費用対効果分析	総費用(C)	205,969千円																					
	総便益(B)	水源かん養便益	292,008千円																				
		山地保全便益	102,725千円																				
		環境保全便益	23,086千円																				
		木材生産便益	159,568千円																				
		森林整備経費縮減等便益	81,022千円																				
		計	658,409千円																				
	分析結果(B/C)	3.20																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び山地災害防止等、公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るための保育及び間伐の森林整備とこれに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	越前森林計画区 （えちぜん） （福井県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署												
事業の概要・目的	<p>越前森林計画区に所在する国有林野29,124haを対象とし、一部海岸林、石川県境の大日山系及び加越山系、九頭竜川上流部にある九頭竜湖周辺、岐阜県境の越美山系に位置している。国有林野は計画区の森林面積の13%で、占める割合は低いものの、水源かん養保安林に98%が指定されており、水の確保に重要な役割を担っている。また国有林の21%が自然公園に指定され、スキーや登山など森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>371 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	371 (ha)	路網整備	開設延長	1.0 (km)		改良延長	0.1 (km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	371 (ha)													
路網整備	開設延長	1.0 (km)													
	改良延長	0.1 (km)													
費用対効果分析	総費用(C)	175,324千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	441,242千円												
		国土保全便益	165,718千円												
	環境保全便益	30,296千円													
	林業生産便益	162,601千円													
	森林整備経費縮減等便益	111,815千円													
	計	911,672千円													
	分析結果(B/C)	5.20													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	北伊勢森林計画区 （きたいせ） （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署												
事業の概要・目的	<p>北伊勢森林計画区に所在する国有林野2,555haを対象とし、北部は養老山地及び鈴鹿山脈の脊梁地帯のほか、高見山地帯に分散して所在している。</p> <p>計画区の森林面積に占める割合は3%であるが、鈴鹿川、安濃川、雲出川等の水源地帯に位置する林分が多く、水源かん養機能の確保が期待される。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p>														
	<p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>14 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>383 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	14 (ha)		保育面積	383 (ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	14 (ha)													
	保育面積	383 (ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	121,464千円													
	総便益 (B)	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>478,686千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>136,716千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>24,180千円</td> </tr> <tr> <td>林業生産便益</td> <td>83,042千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>722,624千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	478,686千円	国土保全便益	136,716千円	環境保全便益	24,180千円	林業生産便益	83,042千円	森林整備経費縮減等便益	千円	計	722,624千円
	水源かん養便益	478,686千円													
国土保全便益	136,716千円														
環境保全便益	24,180千円														
林業生産便益	83,042千円														
森林整備経費縮減等便益	千円														
計	722,624千円														
分析結果 (B/C)	5.95														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	由良川森林計画区 （ゆらがわ） （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所																								
事業の概要・目的	<p>由良川森林計画区に所在する国有林野2,773haを対象とし、丹後半島を主とするほか、京都府北部及び中部に小面積の団地が点在している。</p> <p>国有林野は計画区の森林面積の1%であるが、立地条件や地域の要請等を考慮しつつ、水源かん養等の公益的機能はもとより、木材生産機能の発揮にも努める必要がある。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>4 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>73 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	4 (ha)		保育面積	73 (ha)	路網整備	開設延長	0.9 (km)		改良延長	(km)												
森林整備	更新面積	4 (ha)																									
	保育面積	73 (ha)																									
路網整備	開設延長	0.9 (km)																									
	改良延長	(km)																									
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td></td> <td>50,854千円</td> </tr> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>水源かん養便益</td> <td>56,877千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国土保全便益</td> <td>21,054千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>3,978千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>林業生産便益</td> <td>52,233千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>12,723千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>146,865千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td></td> <td>2.89</td> </tr> </table>			総費用 (C)		50,854千円	総便益 (B)	水源かん養便益	56,877千円		国土保全便益	21,054千円		環境保全便益	3,978千円		林業生産便益	52,233千円		森林整備経費縮減等便益	12,723千円		計	146,865千円	分析結果 (B/C)		2.89
総費用 (C)		50,854千円																									
総便益 (B)	水源かん養便益	56,877千円																									
	国土保全便益	21,054千円																									
	環境保全便益	3,978千円																									
	林業生産便益	52,233千円																									
	森林整備経費縮減等便益	12,723千円																									
	計	146,865千円																									
分析結果 (B/C)		2.89																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	北山・十津川森林計画区 （きたやま・とつかわ） （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>北山・十津川森林計画区に所在する国有林野8,746haを対象とし、奈良県南部に位置している。国有林は昭和30年代に保安林整備等で買入れた森林が大部分で、吉野熊野国立公園や高野龍神国定公園の指定地に含まれ、自然環境の維持・保全への要請が高い。</p> <p>また、熊野川の支流、北山川及び十津川の奥地に位置し、国有林の84%が水源かん養保安林の指定を受け、公益的機能発揮の重要な役割を果たしている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>2 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>391 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	2 (ha)		保育面積	391 (ha)	路網整備	開設延長	4.9 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	2 (ha)													
	保育面積	391 (ha)													
路網整備	開設延長	4.9 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	350,986千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	869,694千円												
		国土保全便益	162,145千円												
		環境保全便益	34,896千円												
		林業生産便益	429,995千円												
		森林整備経費縮減等便益	133,036千円												
		計	1,629,766千円												
	分析結果 (B/C)	4.64													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	紀中森林計画区 (きちゅう) (和歌山県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署												
事業の概要・目的	<p>紀中森林計画区に所在する国有林野2,323haを対象とし、和歌山県の中央部に位置し、4団地が散在している。有田川及び日高川の水源地帯にまたがっているため、水源かん養を目的とした保安林が98%を占めており、その機能発揮が期待される。林分はスギ・ヒノキの人工林を主体とし、標高の高い箇所にはブナ・ミズナラ・モミを主体とした天然林が生育し、貴重な森林も多くこれらの森林の維持・保存が求められている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>26 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>626 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	26 (ha)		保育面積	626 (ha)	路網整備	開設延長	2.0 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	26 (ha)													
	保育面積	626 (ha)													
路網整備	開設延長	2.0 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	271,787千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	573,395千円												
		国土保全便益	209,199千円												
	環境保全便益	42,115千円													
	林業生産便益	205,058千円													
	森林整備経費縮減等便益	34,850千円													
	計	1,064,617千円													
	分析結果 (B/C)	3.92													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	高梁川下流森林計画区 （たかはしがわかりゅう） （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署												
事業の概要・目的	<p>高梁川下流森林計画区に所在する国有林野9,626haを対象とし、岡山県西部の新見市を中心に散在しているほか、瀬戸内海沿岸部に小面積の団地が所在している。国有林野は計画区の森林面積の6%であるが、水源かん養を目的とした保安林が65%を占めており、下流域の水源として重要な役割を果たしている。都市近郊に所在する国有林野は、登山やハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、森林全体の人工林率は78%で木材の安定供給への要請も高い。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>89 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,473 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	89 (ha)		保育面積	2,473 (ha)	路網整備	開設延長	6.9 (km)		改良延長	0.1 (km)
森林整備	更新面積	89 (ha)													
	保育面積	2,473 (ha)													
路網整備	開設延長	6.9 (km)													
	改良延長	0.1 (km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	1,016,420千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,800,682千円												
		国土保全便益	832,689千円												
		環境保全便益	168,898千円												
		林業生産便益	1,145,575千円												
		森林整備経費縮減等便益	44,991千円												
		計	3,992,835千円												
	分析結果 (B/C)	3.93													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	高梁川上流森林計画区 （たかはしがわじょうりゅう） （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>高梁川上流森林計画区に所在する国有林野3,702haを対象とし、神石高原の標高500～900mの高原地帯にあり、岡山県へ流れる高梁川の上流部に位置している。林分はヒノキの人工林を主体とし、一部にアカマツ、カラマツ等の針葉樹、カシ、シイ、コナラ等の広葉樹が見られる。水源かん養を目的とした保安林に98%が指定されており、下流部の水源として重要な役割を担っている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>19 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>756 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	19 (ha)		保育面積	756 (ha)	路網整備	開設延長	1.8 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	19 (ha)													
	保育面積	756 (ha)													
路網整備	開設延長	1.8 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	256,598千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	578,750千円												
		国土保全便益	268,602千円												
		環境保全便益	56,511千円												
		林業生産便益	279,747千円												
		森林整備経費縮減等便益	11,259千円												
		計	1,194,869千円												
	分析結果 (B/C)	4.66													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	香川森林計画区 (かがわ) (香川県)		事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>香川県全域を対象とする香川森林計画区は、都市部を中心に約100万人の人口を抱え、多様な経済活動が行われており、水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、同計画区の国有林野7,530haのうち森林居住環境整備事業対象地以外の6,036haを対象としており、こうした地域の要請に応えつつ、重視すべき森林の機能区分に応じた森林資源を造成するとともに、これに必要な林道整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>16 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>233 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.1 (km)</td> </tr> </table>				森林整備	更新面積	16 (ha)		保育面積	233 (ha)	路網整備	開設延長	8.1 (km)		改良延長	4.1 (km)
森林整備	更新面積	16 (ha)														
	保育面積	233 (ha)														
路網整備	開設延長	8.1 (km)														
	改良延長	4.1 (km)														
費用対効果分析	総費用 (C)		692,254千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	122,530千円													
		山地保全便益	58,560千円													
		環境保全便益	12,484千円													
		木材生産便益	1,541,547千円													
		森林整備経費縮減等便益	561,492千円													
		計	2,296,613千円													
	分析結果 (B/C)		3.32													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、水源地の状況など地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、植栽本数の減、保育の省力化など低コスト化に取り組むこととしている。 また、林道開設に当たっては、現地発生材料の利用などコスト縮減を図ることとしており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>															

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成18年度～平成22年度																				
事業実施地区名 (都道府県名)	今治松山森林計画区 (いまばりまつやま) (愛媛県)		事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>愛媛県北部の今治松山森林計画区は、都市部を中心に約80万人の人口を抱え、多様な経済活動が行われており、水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、同計画区の国有林野2,513haを対象としており、こうした地域の要請に応えつつ、重視すべき森林の機能区分に応じた森林資源を造成するとともに、これに必要な林道整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">5 (ha)</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>113 (ha)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.5 (km)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5 (km)</td> <td></td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	5 (ha)				保育面積	113 (ha)			路網整備	開設延長	2.5 (km)				改良延長	2.5 (km)	
主な事業内容	森林整備	更新面積	5 (ha)																					
		保育面積	113 (ha)																					
	路網整備	開設延長	2.5 (km)																					
		改良延長	2.5 (km)																					
費用対効果分析	総費用 (C)		299,921千円																					
	総便益 (B)	水源かん養便益	129,239千円																					
		山地保全便益	29,868千円																					
		環境保全便益	6,497千円																					
		木材生産便益	538,872千円																					
		森林整備経費縮減等便益	325,403千円																					
		計	1,029,879千円																					
	分析結果 (B/C)		3.43																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、水源地の状況など地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、植栽本数の減、保育の省力化など低コスト化に取り組むこととしている。 また、林道開設に当たっては、現地発生材料の利用などコスト縮減を図ることとしており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																							

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	佐賀東部森林計画区 （さがとうぶ） （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署																
事業の概要・目的	<p>佐賀東部森林計画区は佐賀県南東部に位置する10,151haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、背振山地区、金立山地区、杵島山地区及び経ヶ岳の各地区に所在し林分内容は多様であり、自然環境の維持・保全及び水源涵養など、公益的機能の発揮に対する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p>																		
	<p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>56</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>350</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.7</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>14.6</td> <td>(km)</td> </tr> </table>	森林整備	更新面積	56	(ha)		保育面積	350	(ha)	路網整備	開設延長	4.7	(km)		改良延長	14.6	(km)		
森林整備	更新面積	56	(ha)																
	保育面積	350	(ha)																
路網整備	開設延長	4.7	(km)																
	改良延長	14.6	(km)																
費用対効果分析	総費用(C)	462,394千円																	
	総便益(B)	水源かん養機能	1,296,236千円																
		山地保全便益	404,660千円																
		環境保全便益	90,163千円																
		木材生産便益	884,638千円																
		森林整備経費縮減等便	66,382千円																
		計	2,742,079千円																
	分析結果(B/C)	5.93																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	長崎南部森林計画区 （ながさきなんぶ） （長崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署																
事業の概要・目的	<p>長崎南部森林計画区は、長崎県南部に位置を中心に所在する11,915haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、大村地区、西彼杵地区及び島原の各地区に所在し、海岸から奥地林までの多様な立地条件にあり、その多くは自然公園であることから、自然環境の維持・保全や保健文化機能の維持増進、水源涵養機能などの公益的機能の発揮に努めることとする。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林施業を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">主な事業内容森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>109</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>303</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.5</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.1</td> <td>(km)</td> </tr> </table>				主な事業内容森林整備	更新面積	109	(ha)		保育面積	303	(ha)	路網整備	開設延長	3.5	(km)		改良延長	4.1	(km)
主な事業内容森林整備	更新面積	109	(ha)																	
	保育面積	303	(ha)																	
路網整備	開設延長	3.5	(km)																	
	改良延長	4.1	(km)																	
費用対効果分析	総費用(C)	414,611千円																		
	総便益(B)	水源かん養機能	1,917,190千円																	
		山地保全便益	517,515千円																	
		環境保全便益	110,663千円																	
		木材生産便益	558,401千円																	
		森林整備経費縮減等便	15,188千円																	
		計	3,118,957千円																	
	分析結果(B/C)	7.52																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																			

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	天草森林計画区 （あまくさ） （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署																
事業の概要・目的	<p>天草森林計画区は、熊本県西部に位置する844haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、天草下島地区及び飛岳地区に所在し、スギ、ヒノキの人工林が主体であるが、常緑広葉樹も多くみられ水源涵養機能や保健文化機能など公益的機能の発揮に対する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの国有林の有する公益的機能の維持増進に重点をおき地域の要請に応えながら、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>0</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>24</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.0</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.0</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	0	(ha)		保育面積	24	(ha)	路網整備	開設延長	2.0	(km)		改良延長	0.0	(km)
森林整備	更新面積	0	(ha)																
	保育面積	24	(ha)																
路網整備	開設延長	2.0	(km)																
	改良延長	0.0	(km)																
費用対効果分析	総費用(C)		138,875千円																
	総便益(B)	水源かん養機能	153,785千円																
		山地保全便益	52,863千円																
		環境保全便益	12,736千円																
木材生産便益		308,782千円																	
森林整備経費縮減等便		70,505千円																	
	計	598,671千円																	
	分析結果(B/C)		4.31																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	耳川森林計画区 （みみがわ） （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>耳川森林計画区は、宮崎県北部位置する12,085haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、東郷、南郷、椎葉、七ツ山及び乙島の各地区に所在しており、海岸部から脊梁地帯までの広範囲に渡ることから立地条件等は多様である。国土保全、水源涵養など森林の公益的機能発揮の維持増進とともに、木材生産活動に対する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>116</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>317</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.8</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.3</td> <td>(km)</td> </tr> </table>				森林整備	更新面積	116	(ha)		保育面積	317	(ha)	路網整備	開設延長	1.8	(km)		改良延長	3.3	(km)
森林整備	更新面積	116	(ha)																	
	保育面積	317	(ha)																	
路網整備	開設延長	1.8	(km)																	
	改良延長	3.3	(km)																	
費用対効果分析	総費用(C)	331,604千円																		
	総便益(B)	水源かん養機能	2,188,822千円																	
		山地保全便益	509,360千円																	
		環境保全便益	127,764千円																	
		木材生産便益	413,629千円																	
		森林整備経費縮減等便	21,438千円																	
		計	3,261,013千円																	
	分析結果(B/C)	9.83																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																			

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	始良森林計画区 （あいら） （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署																
事業の概要・目的	<p>始良森林計画区は、鹿児島県北東部に位置する10,982haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、始良西部及び始良北部、始良南東及び霧島の各地区に所在し、林分内容は多様で水源涵養機能などの公益的機能の発揮とともに木材供給に対する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これら多様な要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p>																		
	<p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>70</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>397</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.8</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.5</td> <td>(km)</td> </tr> </table>	森林整備	更新面積	70	(ha)		保育面積	397	(ha)	路網整備	開設延長	1.8	(km)		改良延長	3.5	(km)		
森林整備	更新面積	70	(ha)																
	保育面積	397	(ha)																
路網整備	開設延長	1.8	(km)																
	改良延長	3.5	(km)																
費用対効果分析	総費用(C)	428,830千円																	
	総便益(B)	<table> <tr> <td>水源かん養機能</td> <td>1,467,531千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>413,884千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>97,274千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>374,420千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便</td> <td>27,122千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,380,231千円</td> </tr> </table>	水源かん養機能	1,467,531千円	山地保全便益	413,884千円	環境保全便益	97,274千円	木材生産便益	374,420千円	森林整備経費縮減等便	27,122千円	計	2,380,231千円					
	水源かん養機能	1,467,531千円																	
山地保全便益	413,884千円																		
環境保全便益	97,274千円																		
木材生産便益	374,420千円																		
森林整備経費縮減等便	27,122千円																		
計	2,380,231千円																		
分析結果(B/C)	5.55																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	熊毛森林計画区 （くまげ） （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>熊毛森林計画区は、種子島、屋久島に所在する41,762haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、栗生、尾之間、安房、男女川、宮之浦、一湊、永田川、種子島の各地区に所在し、立地条件等（奥地林・里山林）は多様である。優れた自然環境の維持とともに国土保全などの公益的機能発揮の発揮と重要な産業である木材加工業に対する要請は高い。</p> <p>本事業は、これら多様な要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容森林整備</p> <table border="0"> <tr> <td>更新面積</td> <td>31</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>保育面積</td> <td>120</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>6.7 (km)</td> </tr> </table>			更新面積	31	(ha)	保育面積	120	(ha)	路網整備	開設延長	1.5 (km)		改良延長	6.7 (km)
更新面積	31	(ha)													
保育面積	120	(ha)													
路網整備	開設延長	1.5 (km)													
	改良延長	6.7 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）		444,539 千円												
	総便益（B）	水源かん養機能	2,459,402 千円												
		山地保全便益	693,619 千円												
		環境保全便益	185,027 千円												
		木材生産便益	509,575 千円												
		森林整備経費縮減等便	20,594 千円												
		計	3,868,217 千円												
	分析結果（B/C）		8.70												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														